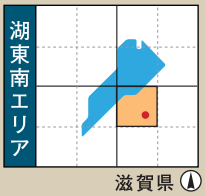
名勝
県指定

妙感寺庭園（みょうかんじていえん）

近江八幡市馬渕町　昭和58年3月28日指定



妙感寺のある岩倉の地は、その名が示すように山中から良質の石材を産出することで知られ、古くは古墳の石材、中世には安土城を始め、八幡山城にも石材を切り出していました。このような土地柄か、妙感寺の庭園は、巨石をふんだんに使った豪壮な中にも広がりのある、晴れやかな庭となっています。

当時のできごと	
1260年	日蓮「立正安国論」を著す
1297年	永仁の徳政令
1570年	柴田勝家長光寺城を攻める



妙感寺庭園　渡り廊下より北を見る

妙感寺について

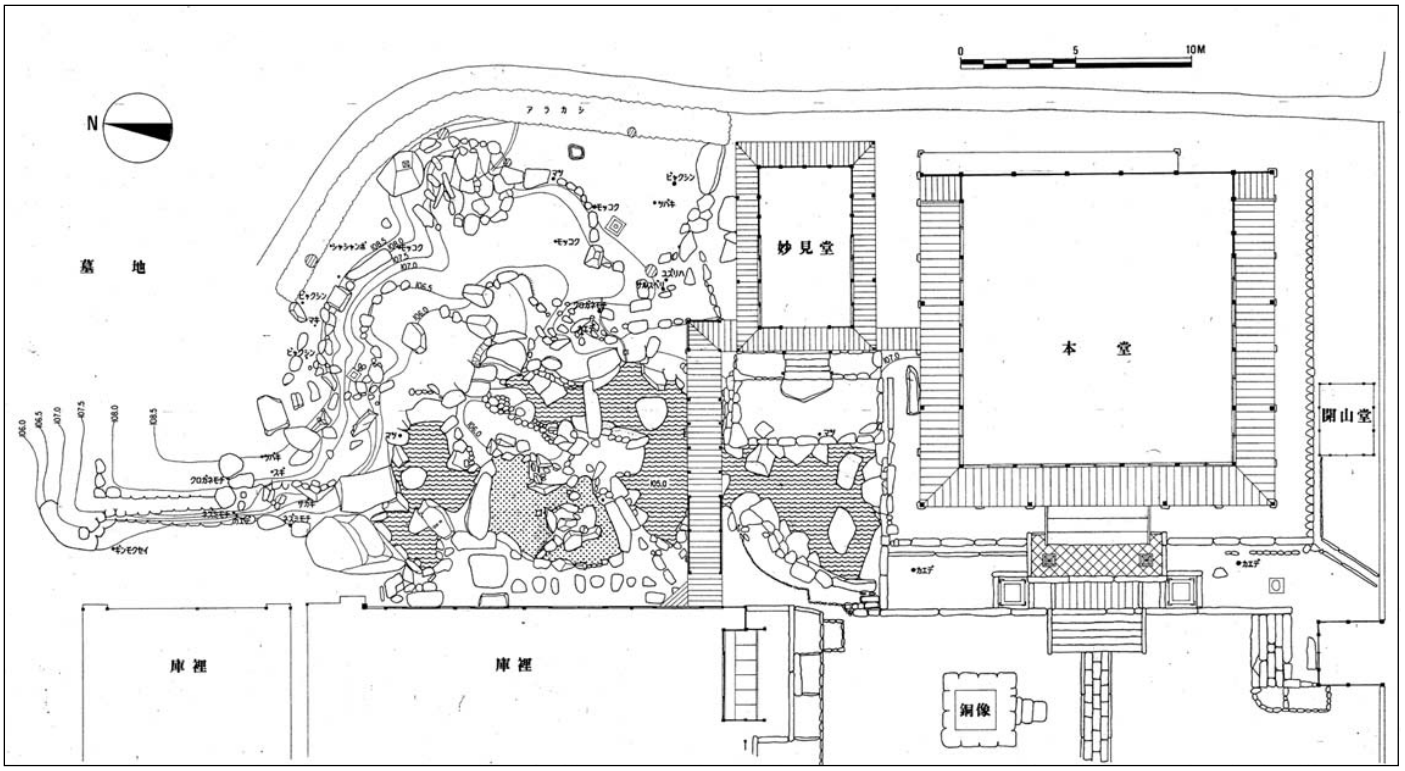
妙感寺は、永仁4年（1296)に真言宗の寺院として建立されましたが、程なく日蓮上人の教化により日蓮宗寺院となったといい、『近江輿地志略』には「馬淵にあり、具足山妙感寺と号す。日蓮上人の開基なり」と記されています。

岩倉の地は、古くから石工が多数活躍し、築城や架橋、石造品の細工により、その名を広く知られていました。今も寺の背後の山には、古い大きな矢穴のある切石を多数見ることができます。

妙感寺庭園は、石工達が活躍した、江戸時代中期頃の作庭になると考えられています。



巨石と石橋



妙感寺庭園実測図

庭園について

庫裡（くり）書院の東庭で、庭の北西部には巨石を2個据え断崖を表し、水を落とします。その下方を小さな池とし、南に一段高く枯池を配し、この境目に自然石の分厚い石橋を渡して、この庭一番の景としています。これらの石組からは岩倉の石工達の技量を感じ取ることができます。

枯池には石組の中島を配し亀に見立て、上部の立石を鶴とし蓬莱山になぞらえています。またこの南には長い堰石を横たえ、その南を池とします。池は東の山裾を巡り、南は渡り廊下を越え本堂の方まで広がります。

巨石とサツキの刈り込みが調和した、広がりを感じる晴れやかな庭となっています。



石橋

関連する文化財

福壽寺庭園（近江八幡市）	学習シートNo.097
千僧供古墳群（近江八幡市）	学習シートNo.042

もっと深く知りたい

近江八幡市立資料館	☎0748-32-7048　近江八幡市新町2-22
近江八幡市教育委員会	☎0748-36-5529　近江八幡市桜宮236

妙感寺庭園へのアクセス　JR琵琶湖線　近江八幡駅下車



【参考文献】〔滋賀の美 庭〕京都新聞社　〔滋賀県の庭園1-3〕滋賀県教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月